LOOK KANAGAWA Peace Mail
神奈川県平和委員会
資料提供ニュース　第１２３号　１１／３／２６発行

横浜市中区野毛町２－６１
大澤屋ビル４Ｆ
TEL/FAX；045-231-0103
Mail;mikio-yu@amber.plala.or.jp

深刻な事態進む福島原発事故
さらに危険な原子力空母の原子炉
米原子力艦船の横須賀入港を止めろ！
横須賀駅頭で２０人が市民に呼びかけ

３月２５日、０８年横須賀への米原子力空母配備に抗議し、毎月２５日に京急横須賀中央駅頭で行われている定例の宣伝・署名行動が行われました。この日は、新しい核兵器廃絶署名と併せ、東北・関東大震災救援募金が訴えられました。１３時から１５時の２時間の行動で、署名１３３筆、救援募金２万円余が寄せられました。行動には、県原水協、地域原水協、新婦人、平和委員会、年金者組合から２０人が参加しました。

訴えでは、今野宏さん（横浜国立大講師・神奈川非核政府の会代表（物理学）横須賀市在住）らが、福島原発事故の被害の拡大や深刻度の増大、「安全神話」の崩壊、米原子力空母の軍事用原子炉が原発の原子炉よりも遙かに危険であることなど科学的な話をもとに市民に分かりやすく、その危険さを訴えました。

「本当に大変な事態ですね」「対岸の火事ではなくなりました」と、展示パネルを見ながらたくさん、特に若者、小さい子を連れた若いお母さんなどが核署名と災害募金に応じてくれました。

原子力空母の原子炉の危険性を訴える今野宏さん

路上の展示パネルの説明を聞く人（上）当日配布のチラシ（左）